

第59回 沖縄県中学校体操・新体操競技大会要項

- 1 主 催 沖縄県中学校体育連盟 沖縄県教育委員会
- 2 共 催 沖縄市教育委員会
- 3 後 援 沖縄県市町村教育委員会連合会 沖縄県中学校長会 (公財) 沖縄県体育協会
沖縄県体操協会
- 4 期 日 令和元年7月6日(土)・7日(日)
- 5 日 程 令和元年7月6日(土) セッティング 9:00～
監督会議 12:00～
開始式 13:00～
競技開始 15:00(新体操団体演技)
7月7日(日) 公式練習 9:00
競技開始 10:30(新体操個人演技・競技男女自由演技)
閉会式 15:00(予定)
- 6 会 場 『沖縄県総合運動公園体育館メインアリーナ』
- 7 申込締切日 各地区中体連の〆切日を厳守すること。
(国頭 6/12、中頭 6/17、那覇 6/13、島尻 6/12、宮古 6/17、八重山 6/7)
- 8 申込方法 県中体連ホームページから大会参加申込用紙をダウンロードし必要事項を入力し、プリントアウトしたものに捺印を受け、各地区専門部長から地区中体連事務局を通じ、一括して県中体連事務局まで申し込むこと。
- 9 企画運営責任者 (1) 県中体連体操専門部
◎宮城栄一郎(石 嶺) ○平良 扇子(越 来) ○又吉 優子(あげな)
大冨見美智子(西原東) 安里 順一(大 里)
(2) 県中体連新体操専門部
◎平良 扇子(越 来) ○宮城 栄一郎(石 嶺) 大冨見美智子(西原東)
- 10 参加資格 (1) 地区中体連大会を経て地区中体連会長の推薦するチーム・個人とする。
但し、地区大会が開催されない地区は、当該中学校の校長が許可し、地区中体連会長の推薦を得たチーム・個人とする。
(2) 選手の引率は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。監督等は出場校の校長・教職員(常勤)・部活動指導員とする。教職員以外のコーチについては、学校長の認めた者で地区・県に登録された者とする。
(3) 九州・全国大会への代表権を獲得した場合は県代表としての自覚と責任を持ち、県中体連の計画および指導を遵守し、九州大会・全国大会へ参加できる学校であること。
(4) 沖縄県中学校体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。
- 11 参加制限 (1) 全県オープン参加とする。
(2) 団体参加はAチームとし、オブザーバー参加も認める。
(3) 個人参加は体操は制限なし、新体操は各地区1位～8位とする。
各地区の個人参加が8名に満たない場合は、他地区で補充することができる(地区大会を参考に専門部で決定する)。
- 12 参加料 参加選手一人につき500円とする。申込みと同時に納入すること

- 13 競技形式 学校対抗とし、団体・個人・種目別選手権に分けて競技する。
- 14 競技規則 2019年度（公財）日本体操協会の競技規則および審判規定に準ずる。
- 15 競技方法 [体操競技]
- (1)自由演技
- ①（公財）日本体操協会 2017 制定・2018 中学校男子適応規則とする。
- ②（公財）日本体操協会制定女子採点規則 2017 年版変更規則 I 及び情報 28 号とする。
- 1 団体選手権
- ・あん馬・段違い平行棒を除く、3 種目の合計。同点の場合は、（公財）日本体操協会設定の順位方法により決定する。
 - 個人の場合は男子 4 種目の自由演技の合計点により、女子 4 種目の自由演技の合計点により順位を決定する。（個人総合選手権とも兼ねる）
- 2 個人選手権
- ・4 種目の自由演技の合計点により順位を決定する。
- 3 種目別選手権
- ・各種目の自由演技の得点により順位を決定する。
- [新体操]
- 男子 1 チーム 6 名で自由演技を行う。（団体・徒手）
個人は、クラブ・スティックの 2 種目の合計とする。
- 女子 1 チーム 5 名で自由演技を行う。手具はリボン（5）
個人は、ボール・クラブの 2 種目の合計とする。
- 1 〈女子〉（公財）日本体操協会制定新体操規則 2017-2020 年度版ジュニアルールを採用する。
- 2 〈男子〉（公財）日本体操協会制定新体操採点規則 2015 年度版及び 2018 年 8 月九州新体操男子申し合わせ事項に準じて行う。
- 3 男子は、チーム得点が同点の場合は、構成の上位チームを上位とし、実施構成共に同点の場合は、同順位とする。
女子は、団体競技同点の場合は、審判全員の採点による得点の合計が高いチームを上位とする。個人競技同点の場合は、審判全員の採点による 2 手具の得点の合計が高い選手を上位とする。それでも同点の場合は、2 手具のうち 1 手具において最高得点を得た選手を選出する。
- 4 伴奏曲は男女とも CD・USB とする。尚、各自持参すること。
本会場には伴奏用音響機器を本部が準備する。（男子は伴奏曲なしでも可）
- 16 選手交代・変更 (1) 団体競技出場者に限り、補欠登録選手との交代が認められる。交代の申込みは監督会議で確認し、監督会議後に所定の用紙で届け出る。
(2) 選手変更の申告は所定の用紙に必要事項を記入し、監督会議で提出する。
- 17 組合せ 演技順、チーム組合せは本部（専門部）抽選とする。
○6月21日（金） 15：30
- 18 表彰 (1) 団体の優勝校に優勝旗・賞状、第 2 位・第 3 位校に賞状を授与する。
（団体の表彰対象は A チームのみとする）
(2) 個人総合第 3 位、種目別第 3 位まで賞状を授与する。
- 19 その他 (1) 体操競技は優勝・準優勝チーム、個人男女各 4 名（優勝・準優勝チーム除く）
新体操は優勝・準優勝チーム、個人男女各 2 名に九州中学校体育大会への出場資格を与える。ただし、体操競技の団体出場校がない場合は、個人選手を最大 8 名追加することが出来る。
(2) 体操・新体操はユニホームに学校マークつける。
（3cm×3cm 以上とし、ウエストラインより上とする。）
(3) 県中体連では別紙「個人情報保護方針」に基づき、県中体連が保有する情報の適正な管理と保護に努めます。
(4) 体操競技においては、競技会場（応援席等）からのスマートフォンやタブレット等での撮影は禁止する。新体操においては、全ての機器において撮影を禁止する。（但し、開・閉会式を除く）